

第三者評価結果

事業所名：太陽の子鶴ヶ峰保育園

A-1 保育内容

A-1-(1) 全体的な計画の作成	第三者評価結果
<p>A-1-(1)-①</p> <p>【A1】 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。</p>	a
<p><コメント></p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・全体的な計画のフォーマットは児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨に則って本社にて作成し、定期的に園からヒアリングを行い見直しをしている。年度初めに計画を立てる際に理念・方針・目標を確認し、定期的に評価、反省を行い振り返りをしている。 ・前年度までの評価や反省から家庭状況や保育時間、地域の実態を考慮して編成している。 ・子ども達がより良い環境の中で育っていけるように、家庭の実態を踏まえ保護者支援も考慮している。 	
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	第三者評価結果
<p>A-1-(2)-①</p> <p>【A2】 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。</p>	a
<p><コメント></p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・こまめに温度計・湿度計を確認し、換気や冷暖房での調整を行うとともに、定期的な清掃や消毒によって適切な環境を整備している。 ・子ども達が安心して過ごせるように保育者も寄り添っていく。 ・生活の流れに応じたコーナーやくつろげるスペースを設け、マットやソファを設置して落ち着ける環境を作っている。 ・子ども達の行動を予測しながら危険のないようにコーナーや棚の配置を工夫している。 	
<p>A-1-(2)-②</p> <p>【A3】 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。</p>	a
<p><コメント></p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの様子をよく観察するように努めており、子どもの思いを聞き、一緒に考えていけるように取り組んでいる。 ・どのように伝えていくと良いかを保育室や休憩室など目につきやすい所に貼りだし、常に意識して過ごせるようにするとともに、マルチトリートメント研修を実施し、子どもにわかり易い表現について学んでいる。 ・子どもの思いを代弁したり、気持ちを表現しようとする姿を認め、穏やかな話し方で受け答えに努めており、危険な時はわかりやすく伝え、その他は具体的に伝えていく等の適切な言葉使いに取り組んでいる。職員間でも注意し合い理解を深め共通認識が持てるようにしている。 	
<p>A-1-(2)-③</p> <p>【A4】 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。</p>	a
<p><コメント></p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・紙芝居や絵本で、早寝早起きの大切さなどを子ども達に問いかけ自分で考えることができるようにしているほか、衛生面での保健指導も行っている。 ・身の回りの事に興味を持てるようにやってみようとする気持ちを受け止め、自信に繋がるような声かけに努めており、自分でやりたい気持ちを汲んでいき、さりげなく手を貸すなどして達成感を味わえるようにしている。食事、排せつなどについては家庭と相談しながら無理なく進めるようにしている。子どもの高さに合わせた家具の配置や導線の確保、自分のマークを貼っていく等子どもが自分で行っていける環境設定に工夫をしている。 ・活動と休息のバランスが保たれるよう年齢に応じて昼寝の時間を設けており、年長児は就学にむけて年明けから時間を少なくするなど配慮をしている。 	

【A5】 A-1-(2)-④
子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。

a

<コメント>

- ・ 戸外活動は園庭や広場で走ったり、遊具で遊ぶ等じゅうぶんに体を動かして遊ぶことが出来るようにしている。活動内容や季節によっても場所を選択し、自然の中で子ども達が色々な発見が出来るように共感し、触れ合えるように取り組んでいる。
- ・ 地域資源を活用し、消防署見学や買い物、プレイパーク（自然の遊び場）、図書館の利用などの体験ができるようにしている。
- ・ 玩具を子どもが選んで遊べるように子どもが取りだしやすい配置、写真の掲示などの配慮をしている。幼児クラスでは子どもと相談しながらコーナーづくりを行っている。毎月の制作、絵の具、クレヨン、歌、劇遊びなど様々な表現活動ができるようにしている。
- ・ 社会や地域とのつながりやルールを知り、友だちと遊び楽しさや協力することなどを体験できるように援助している。

【A6】 A-1-(2)-⑤
乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。

a

<コメント>

- ・ 保育室の環境設定を発達に合わせてこまめに確認しており、色々なものや場所に興味もてるように手作り玩具も取り入れている。
- ・ やさしい声掛けや笑顔によって保育者との関りを深めたり子ども達が安心して過ごせるように配慮しており、担当保育士が傍に居ることで愛着関係が出来、子どもの様々な表情から気持ちを代弁していくなど応答的に関わることを大切にしている。
- ・ 保護者との連携も密に取り体調面の配慮や見通しを持った保育ができるようにしている。

【A7】 A-1-(2)-⑥
3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。

a

<コメント>

- ・ 自分でやってみようとする気持ちを大切に、側で寄り添いながら援助や声掛けを工夫したり、見守るようにしている。好きなことや好きな玩具などを見つけて楽しく遊べるようにしたり、やりたくない気持ち、いやいや期も受け止めながら援助している。
- ・ 1歳児は食事と準備、遊びのスペースを分けて密にならずのびのびと過ごせるように工夫している。友だちとトラブルが起きることもあるが、関わり方を知らせたり保育者が仲裁に入り、気持ちを代弁し安全に配慮しながら対応している。
- ・ 異年齢の関わりを持ち、地域の方との関わりも大切にしている。
- ・ 連絡ノートや口頭で家庭と密に連携を取り保育にも活かせるように取り組んでいる。

【A8】 A-1-(2)-⑦
3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。

a

<コメント>

- ・ 年齢に合った子ども主体の保育内容を考えていき、異年齢交流では小さい子の面倒を見たり、年長児に憧れを抱いたり良い刺激が持てるように援助している。
- ・ 各年齢が興味関心のある活動に取り組める環境を整え、子どもの主体性を大切に協同的な関わりを心がけている。誕生日会はクラスごとにお祝いし、夏祭りごっこは園庭で実施、幼児クラスは近くの畑で芋ほりをするなどコロナ禍において工夫をしながら行事に取り組んでいる。
- ・ 子どもの活動を写真などで保護者や地域に発信し、就学先の小学校へは要録以外に電話や訪問で共有している。
- ・ 年齢ごとのカリキュラムでは他児との関わり、協力する楽しさや達成感を味わえていけるようにしている。

【A9】 A-1-(2)-⑧
障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。

b

<コメント>

- ・ バリアフリーで段差等が無く、2階への移動はエレベーターを使用して車いす等にも対応可能である。
- ・ 療育センターにて個別の配慮が必要な場合は指導計画を作成し、クラスの計画と関連づけた計画を作成している。クラスでは絵カードを使用したり座席の配置等個々に合わせた配慮を行っており、職員間で情報共有をすることで、どの職員も対応できるようにしている。
- ・ 個別対応と集団の中での学び、両方の重要性を踏まえた保育計画を構成している。
- ・ 研修を定期的受講し、子どもの捉え方や関わり方を学んでいる。それを職員間で共通理解の基支援にあたっていけるように努めている。

<p>【A10】 A-1-(2)-⑨ それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	a
<p><コメント></p>	
<p>・長時間保育では保護者が延長サービスを利用し申し込みが有れば食事の提供も行っている。 ・見通しをもった計画の中で静と動を考慮した活動内容を取り入れ、子どもの状況に応じた保育環境を整えている。異年齢との交流では、したい遊びが出来る環境を整え十分に遊びこめるように時間配分に配慮するなど計画性を持った内容に配慮している。 ・活年齢の違いや動き、興味の違いについてはコーナーや人数で分けるなどの工夫や、動のスペースと休息が取れるスペースを用意し、自分のペースで過ごすことができるよう配慮している。 各家庭とは連絡ノートや伝達を登降園ボードにて行い、園生活の様子を丁寧に伝えている。</p>	
<p>【A11】 A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。</p>	b
<p><コメント></p>	
<p>・小学校までの道のりを散歩に取り入れ、校庭から小学生の様子を見学するなど可能なことに取り組んでいる。昨年からはほとんど交流が出来ていないが、子どもは手紙のやり取りをしており、保護者にむけては説明会が設けられている。 ・園生活では最年長クラスは上履きで生活し、就学に向けて午後保育等の準備を取り入れている。 ・コロナ渦で交流が難しくなっているが、子ども達が小学校について知ることができる機会を作れるように検討中である。</p>	
<p>A-1-(3) 健康管理</p>	<p>第三者評価結果</p>
<p>【A12】 A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。</p>	a
<p><コメント></p>	
<p>・受け入れの際に視診や検温などを目安に一日、健康に過ごせるように配慮しており、子どもの体調や怪我の際は事後の確認も行い、健康台帳に追記したりインシデントに記入している。 ・SIDSの園内研修を定期的に行っており、寝返りの際にうつぶせ寝になった場合はその都度仰向けにしている。(0,1歳児は横向きも仰向けに直している) また、マニュアルを基に職員間で健康状態の確認や体調不良時の対応について共有している。 ・看護師によるクラスの巡回、手洗い、歯磨き、からだのことなどについての健康指導を行っており、絵本や人形などでわかりやすく伝えるようにしている。保護者にむけて、保健日より健康に関する情報を発信している。</p>	
<p>【A13】 A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。</p>	a
<p><コメント></p>	
<p>・必要に応じ保護者と面談をおこない、看護師からも丁寧に指導して家庭と協力して行っている。 ・健康診断や歯科健診の結果は看護職員より担任に周知され、保護者に伝えている。その際に受診を勧めたり、相談を受けたりしている。 ・保健指導を定期的に行い、健康な身体づくりや清潔に保つことの大切さをわかりやすく伝えている。</p>	
<p>【A14】 A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。</p>	b
<p><コメント></p>	
<p>・今年度はアレルギー疾患への対応はないが、必要に応じて園に書類を提出してもらい、食事は別テーブルで提供し、アレルギー物質に触れる事がないように配置等も工夫している。また、アレルギー対応食をダブルチェックしていき、毎月保護者、担任、栄養士で確認し合う体制がある。 ・アレルギーに関しての知識や対応について看護師による園内研修を実施しており、エピペンの使用方法、救急救命などがある。</p>	

A-1-(4) 食事	第三者評価結果
【A15】 A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a
<コメント>	
<ul style="list-style-type: none"> ・郷土、世界、絵本コラボ献立を毎月取り入れ、食事を通して様々な文化に触れることができるようにしており、担当者が用意した壁面で子どもにも親しみやすく発信され、興味、関心に繋がっている。食べ物の姿、形、におい等を感じ興味を持つきっかけになるように配慮している。給食だけでなく、保育の中に食べることを意識した活動を取り入れている。 ・離乳食、未満児には要望に合わせて、食事量や食具、形態を発達に合わせて提供している。苦手な物は分量を加減し、少しずつでも食べられたときは褒めて自信に繋がるように援助し、楽しく食べていけるような雰囲気作りを心がけている。 ・食育活動では旬の食材に触れる機会を作り、栽培を通して育てたり収穫も体験し、自ら皮むきなどをして調理室に届けて連続性のある食育活動によって食べる事への意欲や期待感に繋げている。 ・給食便りで人気レシピや健康に役立つ情報を配信している。 	
【A16】 A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a
<コメント>	
<ul style="list-style-type: none"> ・食材は国産品を使用し季節の旬の食材を用いた献立を提供している。温かいもの、冷たいものをそれぞれ適切な温度で提供できるように工夫している。 ・子どもの食事量や好き嫌いを把握し園内で共有しており、残食量を把握し、次回同様メニュー時に増減できるように工夫している。 ・栄養士は各クラスの食事時に巡回し、食事の様子を見たり食具の使い方を指導している。食育活動は栄養士と保育士が共同で考えていき、様々な食育を行っている。様々な食材や調理方法に触れる機会を作り、食べ物を題材にしたペープサートや手袋シアターなどで身近に感じられるよう取り組んでいる。 ・衛生管理マニュアルを使用し、全ての職員が衛生管理に努めている。 	

A-2 子育て支援

A-2-(1) 家庭と緊密な連携	第三者評価結果
【A17】 A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a
<コメント>	
<ul style="list-style-type: none"> ・保育の様子をドキュメンテーションという形でほぼ毎日作成し、可視化して保護者に伝える取り組みがある。 ・懇談会が対面で行うことが難しいため、保護者からの悩みやクラスの様子をクラス便りに載せ、共有できるように努めている。 ・感染防止対策を充分に行いながら季節の集いや行事を行い、成長を共に喜べることを大切にしている。 ・面談をしていく中で共有した内容は保育にも活かしている。 ・保護者との連絡ツールである連絡帳には頑張っていることやエピソードを記入し、意欲的に過ごす姿を園と家庭の両方で見守る意識を持っている。また、保護者からの連絡に対して丁寧に返答することを心がけている。 	
A-2-(2) 保護者等の支援	第三者評価結果
【A18】 A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a
<コメント>	
<ul style="list-style-type: none"> ・常に笑顔を心がけ要望にはまずは受け止めた上でどのようにしていったら良いかを伝えている。お迎え時間により直接伝えられないこともあるため土曜日に面談を設けるなどの配慮をしている。 ・降園時に子どものエピソードを伝え忘れのないようボードに記入し保護者に伝えている。 ・保護者からの相談や面談の内容を職員間で共有し、共通の対応や関わりを持っていけるように努めている。 	
【A19】 A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a
<コメント>	
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの様子や表情、身体の確認を行い、異変に気付いた際は写真を撮り、関係機関と速やかに連携をとっており、担任だけでなく、園長、主任もフォローし対応にあたるようにしている。 ・虐待の予防や理解が深まるように研修の機会を増やすことを検討している。 ・保護者への声かけを日常的に行い、職員間で共有し合っていていつでも援助出来るようにしている。 	

A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）	第三者評価結果
【A20】 A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a
<コメント>	
<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めに自己評価をシートに記入し、年度途中で振り返りを行っている。年度末には一年間の振り返りをし、そこからの反省を次年度に繋げ自己の保育の見直しをしている。自ら課題を設定し、実践、反省を行うことで保育へのモチベーションアップにも繋がっている。 ・自分が受講したい研修を選んで受講することが出来、専門性の向上に繋がっている。 	